



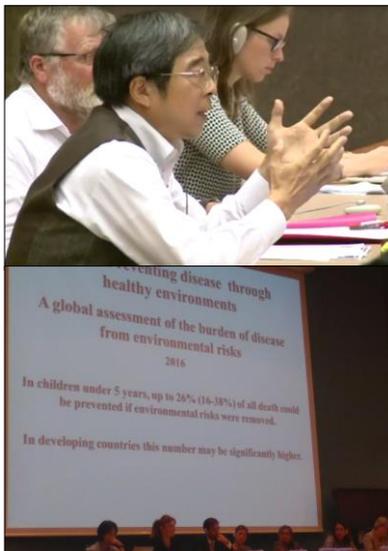
「尚絅学院大学放射線研究チーム」国連・子どもの権利委員会発表
”自然剥奪症候群” 福島核発電所事故による子ども時代の喪失について

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび尚絅学院大学付属幼稚園を中心とした尚絅学院大学放射線研究チームが行ってきた放射能汚染による幼稚園保育園の深刻な保育制限に関する研究成果を国連・子どもの権利委員会に提出し、同委員会が9月23日にGenevaの国連本部で開催した子どもの権利に関する一般討議に本学の森田明彦教授が参加、放射能汚染が土や草や木に及んだため、自然に触れることを制限した結果、子どもたちに”自然剥奪症候群“が現れたことを報告し、さらに国連・子どもの権利委員会に以下の要請を行いました。

- (1) 国連・子どもの権利委員会に対する政府報告書に技術的災害や有害物質による環境問題に関する記述やデータを盛り込むことを(子どもの権利委員会より)各国政府に要請すること
- (2) 子どもを含む当事者の意見、特に政府見解と異なる少数者の意見を政府報告書に盛り込むことを(子どもの権利委員会より)各国政府に要請すること
- (3) 環境に対する権利を保障するうえで有効と思われる制度は何かを子どもの権利委員会として検討すること

報道関係の皆様におかれましては、本研究活動については是非取材していただきたくお願いいたします。



<本件問合せ先>

尚絅学院大学放射線研究チーム

担当：尚絅学院大学付属幼稚園園長 岩倉政城

電話番号：022-381-2270

メール：rock-iwakura@shokei.ac.jp

担当：尚絅学院大学教授 森田明彦
 (米国NYにて在外研究中)

電話番号：1-917-402-9698(米国携帯)

メール：a_morita@shokei.ac.jp